

令和4年度 図書館利用者アンケート集計結果について～報告～

この度は、「利用者アンケート」にご協力いただきありがとうございました。
下記のとおり集計結果がまとまりましたのでご報告いたします。
いただいたご意見は、図書館サービスの更なる向上に活かしてまいります。

- <調査目的> 図書館をどのようにご利用いただき、どのくらい満足して
いただいているか などをうかがい、今後の運営の参考に
させていただくことを目的に実施。
- <調査方法> 令和5年2月1日から14日の間、
(館内入口の)特別展示台、受付カウンターで調査用紙を配布・回収。
- <配布枚数> 1,058件 <回答数> 373件 ※回収率 35.3%



【アンケート結果の概説】

<図書館の利用状況(年齢層、頻度)について>

- 「若年層(10～20代)」の利用・回答が少ない状況でした。
⇒ 若年層に対して“図書館に関心を持ってもらう取組(情報発信を含む)”を進めていく必要があります。
- 「月1～2回程度の利用」が最も多く、「月1回以上来館している方」が約9割でした。
⇒ “資料の貸出期間(15日間)に合わせて来館し、借りていた本を返して別の本を借りていく”という使い方をしている人が多いことがうかがえます。

<図書館の運営・サービスについて>

- 『総合的な満足度』の設問では、「満足・おおむね満足」と回答した方が7割を超え、『各サービスの満足度(館内の過ごしやすさ)〈資料の種類・数、探しやすさ〉〈おはなし会、講演会・講座などの行事〉〈図書館からのお知らせ〉〈スタッフの対応〉)』の設問においても、すべての項目で8割を超える方※が「満足・おおむね満足・普通」と回答しました。
※「わからない」と回答した方を除く
⇒ 現状の図書館運営は、おおむね受け入れられていると考えられます。
- 一方で、『大人向け資料の種類や数』や『資料の探しやすさ』の設問では、他と比較すると「やや不満・不満」が目立ち、『今後、力をいれてほしい取組』の設問でも、「特定のジャンルを増やしてほしい」といった内容の資料の充実や「探している資料が見つかりやすい配置・表示」を求める回答が多くありました。
⇒ 限られた資料購入費を有効に活用し、魅力ある資料構成を図りながら、図書館をもっと活用してもらえるように資料情報を提供する必要があります。
(例/フロアマップによる案内、本の見せ方・並べ方の工夫、レファレンスサービスの周知など)
- また、『図書館ホームページで予約や延長ができること』や『公共図書館の広域利用ができること』は他のサービスと比べてあまり知られておらず、『電子図書館サービス』については、利用している人が限られている状況がうかがえます。
⇒ 図書館サービスについての情報を整理し、上手な利用の仕方をわかりやすく紹介するなど、PR方法を工夫する必要があります。
- この他、施設・設備面では、「資料が探しやすい書架の採用/配置の変更」「ゆっくりくつろげる空間の整備/読書スペースの拡張」「十分な駐車台数の確保」などの意見が寄せられ、使い勝手が良く、また居心地の良い図書館が望まれていることがうかがえます。
⇒ 現有施設の中で対応可能な、利用しやすい環境づくりを検討し、実現できるものから順次着手していく必要があります。

<その他について>

- 「新刊、話題の本や〇〇賞受賞の本が見つけれない、入れてほしい」というご意見が多く寄せられました。これらの本の多くは入荷済みであるものの、返却され次第すぐ次の方に借りられたり、切れ目なく予約が続いたりしているため本棚には並んでいません。
お探しの本が見つからない時は、遠慮なくスタッフにお尋ねください。

※ 集計結果の詳細、分析内容について、詳しくは図書館ホームページをご覧ください。

